

# 届けますっ! 大和魂 2016年2月 Vol.10

## — 経営理念 —

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

## 新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。花本隆資です。昨年も大変お世話になりました。誠ありがとうございました。昨年は「掘」という漢字をスローガンにして、もっとより深いサービスを! もっとより深い商品を!! もっとより深い内容の「届けます大和魂」にしよう!!! と心掛けて一年を過ごしてきました。2016年の今年はお客様との絆をより固くしていきたいと想い、「固」という漢字をスローガンに一年を過ごしていこうと想っております。絆を固くしていくサービスを実施していきますので、本年もどうぞ宜しくお願い致します!



新年明けましておめでとうございます。中堀あけみです。今年の文字は、「笑」です。オークションサイトや、届けます大和魂を通じて沢山のお客様とお話しが出来ようになりました。「こんな刀が好き」「こんな甲冑を持っている」「いつもありがとう」「毎回楽しみにしている」...など沢山の嬉しいコメントを頂いて、私自身が笑顔になっております。本当にありがとうございます。お客様の顔が見えない商売ですが、商品がお手元に届いた時、お客様が笑顔になれるようなお取引を心がけていきたいです。家では家事と子育てに追われ、気が付けば眉間にシワが寄ってます(汗)楽しく、笑顔で家族に接していけるような日々していきたいです。本年もどうぞ宜しくお願いします



明けましておめでとうございます。島谷貴子です。昨年は本当にありがとうございました。2016年を漢字一文字で表すなら...私は、「想」です。昨年以上にお客様に喜んでもらう、満足してもらうサービスをしていきたいという意味を込めて「想」にしました。そして、子供たちと話している時にも、「ゆっくり聞く」「ゆっくり話す」ということが昨年はあまり出来ていなかったと反省しています。今年はしっかりと子供達と向き合っていきたいと想い、この字にしました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



- ### — 目次 —
- 1 新年挨拶  
〜 スタッフ一同
  - 2 語ります大和魂  
〜 中堀(なかほり)
  - 3 ハナエモンのタイムスリップ  
〜 花本(はなもと)
  - 4 大名からのご提案  
〜 花本(はなもと)
  - 5 お客様のコメント  
〜 中堀(なかほり)



## 大名からのご提案

刀剣のメンテナンスについて大名からご提案させて頂きます。刀の手入れをしているんだけど、錆・傷で困ってはいませんか? このニュースレターを読んでいる方限定!!

- 1 刀の状態がわかるような写真を送ってください。件名に「ニュースレターを読みました」と入れてください。 [sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp](mailto:sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp)
- 2 写真を確認後、傷の状態を研ぎ師の方へ伝えます。
- 3 金額、期間が分かりましたら、こちらから連絡させて頂きます。必ず登録証をつけて送って下さい。(送料はご負担頂きます。)
- 4 ご入金確認次第、研ぎをお願いするようになります。

### 研ぎ代

◆短刀・脇差 税込 ~~9万円~~ → **6万円**

◆刀 税込 ~~15万円~~ → **13万円**

\*傷・錆の状態により、金額の多少のずれはございますのでご了承下さい。

写真を送るのが難しいようでしたら、直接当社へお送り下さい。その時、メモ書きでよろしいので「ニュースレターを読みました」と一文添えてください。よろしくお願い致します。

## お客様のコメント

千葉県 H様より

### コメント

刀は集め出してまだ半年程度のにわかコレクターです(\*^^\*)元々は父が集めて居まして、昨年の夏に他界して、形見で譲り受けた、2振りの刀と脇差を触る内に何故かハマってしまいました。ちゃんと綺麗に撮れた写真がないのですが、一度全部並べて撮影してみたんですね! ニュースによく出てる押収品みたいになってしまいます(笑) 長いアクリルケースに入れて飾る予定です。



### コメントの返信

押収品の写真のような沢山収集した刀を見たいです。アクリルケースに入れると、カッコいい展示になると思います。

## 新春 お年玉プレゼント

- 同封の応募用紙に
- 1) クイズの答え
  - 2) レターの正直な感想(酷評歓迎)
  - 3) レターで取り上げてほしいテーマ
- 全てご記入いただき、Fax・メール・はがきでご応募下さい。



\*当選された方は写真を掲載させて頂きますのでご了承下さい。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せくださいお待ちしております

件名: ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報は [こちらから](http://daimyou.com/) ホームページ <http://daimyou.com/>  
 有限会社 **大名** 広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール [sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp](mailto:sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp)  
 TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937



# 大和魂 語ります

こんにちは、中堀明美です。  
刀の五箇伝について語らせて頂きましたが、残るは美濃伝(岐阜)のみとなりました。

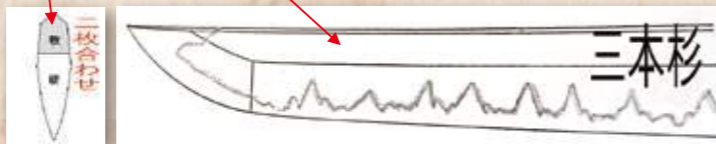
## 始まり

五箇伝の中で一番新しい流派です。  
岐阜県・関市で刀工されたので、関物とも呼ばれています。  
南北朝期に正宗の弟子・金重が移住して相州伝をもたらしました。  
同じく正宗の弟子、正宗十哲ある志津三郎兼氏は志津へ移住しましたが、後に関に移住しました。兼氏は元々、手掻一門の弟子であった為、大和伝と相州伝の伝法が合わさり、美濃伝が完成しました。

## なぜ美濃国?なぜ関へ?

自然に恵まれ、良質な原料・清らかな水・砥石と、刀鍛冶をしやすい環境にありました。美濃国や周囲の国々に有力な武将が多く、注文が殺到し急激に発展していきました。

関市は豪雨などの被害が少ないため、多くの刀工師達が集まり盛えていきました。  
その中でも、孫六兼元は独特の作風で、実用二枚合わせの刀身と三本杉の刃文により高く評価され、今では名刀「関の孫六」と美濃伝の代名詞になりました。



## 戦によって...

戦国時代の刀は末関物とも呼ばれております。  
そして関七流(善定、三阿弥、奈良なら、得印、徳栄、良賢、室屋)と呼ばれる7つの分派が生まれました。  
彼らの多くが大和鍛冶の出身者で、故郷を思う気持ちを一つにしたい事から、分派の7人の頭による合議制によって作刀が行われ、個人の刀工が勝手に作刀することはできませんでした。そして、刀工師達は戦用に大量で安定した刀、使いやすい刀を造りあげていきました。

## その為に

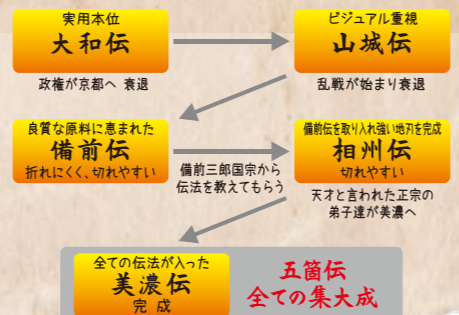
強く、実用的にするには...

<p>鑄が高く、重ねを薄くする事で 折れにくく、切れやすい</p>	<p>長い刀は少なく、握りやすい持ち手にする事で 動きやすく、振りやすくなる</p>	<p>地鉄の質をきめ細かくすることで 柔軟でねばり強くなる</p>	<p>しっかりと焼入れし、硬度が高くなり、粘り気がある事で 刀こぼれがしにくくなる</p>
---------------------------------------	--	---------------------------------------	---

実戦用としては五箇伝の中で、最も優れた刀と評価されています。  
ですが末関物の刀は、大量生産したことで美術的にはあまり評価されていないのも事実です。  
一体、何振りの刀が造られたのでしょうか?きっと想像を超えるほどの量なのでしょうね。

## 五箇伝の振り返り

時代により求められる刀は違ったけれど、どの時代も'どんな刀よりも優れた刀を造る'という想いは共通していたと思います。  
美濃伝の刀は、他の四箇伝を造り上げてきた刀工師達の魂が入った伝法の集大成だと思えます。  
五箇伝を学んで日本人の繊細な技術、日々成長しようとする、大和魂を改めて感じました。



# 源為朝編

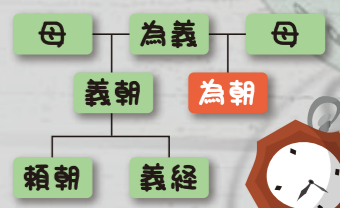


## ハナエモンのタイムスリップ

こんにちは、花本隆資です。  
2月といえば節分ですね。「鬼は〜外。福は〜内。」と2月3日は日本全国、豆を投げていることでしょうね。  
今号は鬼を退治し、家来にしたといわれる、源為朝(みなもとのためとも)にスポットを当ててみたいと思います。



源為朝は平安時代末期の武将で、有名な源頼朝(よりとも)、源義経(よしつね)の叔父にあたります。源為義(ためよし)の八男として生まれました。  
な、な、なんと身長は7尺(約2m10cm)もあったとか...更に左腕が右腕よりも12cmも長かったとか...。そんな体格なので勇猛。更に相当な暴れん坊だったそうです。  
暴れん坊過ぎて、13歳で父親から勘当されて、九州に追放されてしまいます...



### 13歳...破天荒な方ですね(笑)

更に3年後の16歳で九州を統一するという強者!!!そして勝手に統一したので、朝廷から呼び出しが来るが、拒む...。そのせいで、父・為義が官位を剥奪されてしまいます。父に申し訳ないと思ひ、上洛してきます。

## 保元の乱

当時、崇徳上皇(すとくじょうこう)と後白河天皇(ごしらかわ)が権力争いをしていたので、父・為義と一緒に上皇側として参戦します。兄の義朝(よしとも)は天皇側として参戦しました。  
為朝は夜襲をしかけて一気に勝負を決めましようと言いましたが、受け入れられず。反対に兄の義朝に夜襲をしかけられ、敗北してしまいます。

## 兄・義朝と対峙した時の逸話

威嚇で弓を放ち、兄・義朝の兜の星に命中させた為朝。  
兄・義朝「兄に弓をひくとは何事かあー!」  
為朝「兄上は父に弓をひいているのではないかあー!!!」  
兄・義朝「...」



## 敗北後

戦に敗れた為朝は伊豆大島へ島流しにされます。  
10年後、鬼の子孫が住む「鬼ヶ島」へ渡り、鬼を退治し、家来にしたそうです。これが桃太郎のむかし話の元になったと言われています。  
更に、鬼ヶ島と伊豆諸島7島を攻め、支配地域にします。年貢も払わず、好き勝手に生きる為朝の元に、朝廷から征伐軍がやってきます。  
得意の強弓(ごうきゅう:数人がかりで弦を張る弓)を放ち、300人も乗る船を沈没させました。しかし、その後も押し寄せてくる軍団を見て諦め、自害をしてしまいました。  
伝説として、琉球に渡り琉球王国を建国したとも...。でもこれ、琉球王国の正史として扱われています。

破天荒な武将で逸話もたくさん残っている方ですね。  
為朝の作戦を聞き入れ、夜襲をしかけていたら時代が変わったのかもしれない。  
あの時、上皇側が勝っていたら、保元の乱から力をつけていった平清盛の時代もなかったかもしれない。  
清盛の時代がなかったら、武士が天下をとる時代もなかったかも...。  
武士が時代をとる時代がなかったら、その後の日本の歴史も大きく違うと思います。  
まさに「その時、歴史が動いた」ですね~  
為朝が生まれなかったら、桃太郎の話もなく、あんなに美味しい吉備団子も生まれてないかもしれませんね。